

全大学生に求められるAI・DX知識

DX人材に必要な知識・能力

実務処理能力

実際の仕事(実務)に限られた時間内で完了(処理)するための力

問題解決力

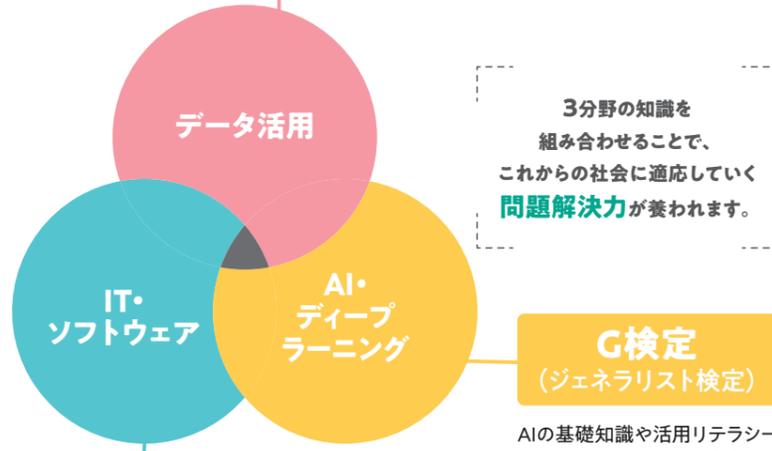
今後の社会で必要とされる知識を身につけビジネスを成功に導くための力

MOS (Microsoft Office Specialist)

パソコンスキルは、自己流で「使える」と、習得した適切な機能を「使いこなせる」とでは意味が異なります。実際にアプリケーションを操作する実技を学習するため、実践的なスキルが自然と身につきます!

ビジネス統計スペシャリスト Excel分析ベーシック

データ分析の力を身につければ課題解決や新規提案などに必要なデータを多角的に理解できるようになります。



G検定 (ジェネラリスト検定)

AIの基礎知識や活用リテラシーを身につけることができます。人間の知能をコンピュータにより再現する技術で、業務の効率化や課題解決に役立ちます。

ITパスポート

現代を生きる全社会人に必要な知識とされ、ITやデジタルリテラシー向上に役立つ基礎的な資格。

基本情報技術者

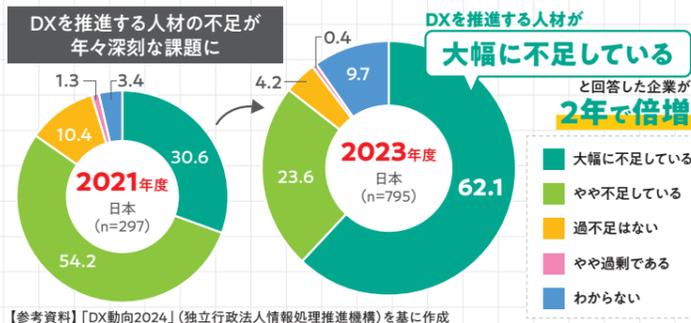
ITに関する知識だけではなく、プログラミングやコンピュータサイエンスを基礎から体系的に学べます。

P.23へ

なぜ企業がDX人材育成に力をいれるの?

※DX:デジタルトランスフォーメーション

- Point 1** 2030年には40万人から80万人のデジタル人材が不足すると予測されており、DX推進に必要なIT人材は約150万人
- Point 2** ChatGPTなどのAIの急速な進化により、AIを活用できる人材の必要性が高まっている
- Point 3** 経済産業省ではすべての業界にDX化を推進している



DX人材確保が企業の急務とされています!

ITパスポート学習経験者は基本情報技術者試験に有利!

ITパスポート試験と基本情報技術者試験の出題範囲は重なる点が多いので、ITパスポートの学習経験者に有利な試験といえます。ITパスポート試験対策で身につけた知識が残っているうちにチャレンジしてみましょう。

基本情報技術者試験の科目A試験は暗記が中心!

ITパスポートの知識をそのまま活かせます。

業種業界問わず必要な「情報活用知識」を学ぶ

助成金 P7

DX入門講座 ITパスポート講座 基本情報技術者講座

国家試験

国家試験

担当スクール

資格の大原

ITパスポート試験概要		基本情報技術者試験概要	
受験資格	全国合格率	受験資格	全国合格率
制限なし	50.2% (2024年4月~11月)	制限なし	41.9% (2024年4月~11月)

募集要項

- 申込期間は延長する場合がありますので、課外講座専用ホームページを随時確認してください。
- 受験料については各試験実施団体にお問い合わせください。

課外講座専用ホームページ
申込・講義日程・ガイダンスはこちら▶
講義日程を必ずご確認ください



コース名(回数)	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料 ※教材費含む
DX入門(1回)	5月~	オンデマンド	3/11(火)~26/3月	5月~26/3月	3,500円
ITパスポート(20回)	5月	Webライブ	3/11(火)~4/17(木)	5月~7月	26,400円
ITパスポート(20回)	10月	Webライブ	7/15(火)~9月	10月~12月	26,400円
基本情報技術者(45回) (科目A試験免除コース)	8月	オンデマンド	3/11(火)~7/15(火)	8月~26/3月	64,900円

申込方法はP.28へ



DX入門講座

IT初心者でも受講可能です。DXの本質の理解から始まり、推進の背景、戦略の概要などを分かりやすく説明し、チェックテストによる効果測定も行います。

- DX人材育成
- DXの目的
- DXの背景
- DX戦略の進め方
- DXの本質
- DXの構造
- 攻めのDX 守りのDX
- DXの目的
- DXが進まない理由

ラインナップ例	講義時間	内容
DX入門	3時間	DXの本質 ■推進の背景 ■DXが進まない理由(短縮版) ■DX人材の育成 ■チェックテスト

ITパスポート講座

すべての社会人・学生が備えておくべきITに関する基礎的な知識を学習します。パソコンを使用してプログラミングなどの実技を習得するのではなく、情報処理やビジネスに関する知識を学習するため、文系・理系問わずおすすめの試験です。就職後に役立つパソコンやネットワークの基礎知識だけでなく、経営戦略やマーケティング、財務、法務などの知識が身につく、どのような職種を希望している場合でも将来に活かせるスキルを習得できます。

経営全般 会社経営、法務、マーケティングなどビジネスに関する知識	IT管理 システム開発、プロジェクト管理、ITシステムの運用などITマネジメントに関する知識	IT技術 コンピューターの内部の仕組み、セキュリティなどIT技術に関する知識
--	--	--

基本情報技術者講座

情報処理技術者試験の中でも最も人気のある試験で、情報セキュリティ、ネットワーク、データベースなどITに関する基礎知識を幅広く習得でき、システム開発、IT基盤構築などの局面で役立つ力が身につきます。IT業界では、社員に対して受験を推奨している企業も数多くあります。

情報セキュリティ セキュリティに配慮したシステム設計や、サイバー攻撃を未然に防ぐための調査・分析などをおこなう	データベース、ネットワーク 業務で扱うデータの統合・管理・蓄積や社内、部署ごとのネットワーク構築などをおこなう
プロジェクトマネジメント ITシステムやソフト開発などのプロジェクトを総合的に管理・調整する	経営戦略マネジメント 企業の経営方針に従って、情報戦略の立案や、マーケティングなどをおこなう

効率的な同時学習で、実践的なスキルを習得。

助成金 P7

MOS講座 (Word) (Excel®) (PowerPoint®)

ビジネス統計スペシャリスト講座

G検定 (ジェネラリスト検定) 講座

担当スクール	資格の大原
試験概要	
受験資格	全国合格率 [G検定]
制限なし	75.03% (2024年 第5回)

募集要項

- 申込期間は延長する場合がありますので、課外講座専用ホームページを随時確認してください。
- 受験料については各試験実施団体にお問い合わせください。

課外講座専用ホームページ

申込・講義日程・ガイダンスはこちら▶

講義日程を必ずご確認ください



コース名(回数)	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料 ※教材費含む
Word (7回)	8月	Webライブ	3/11(火)~7月	8月~9月	23,100円
Excel (7回)		Webライブ			
PowerPoint (7回)		Webライブ			
ビジネス統計スペシャリスト (10回)	9月	Webライブ	3/11(火)~8月	9月~10月	24,400円
Word (7回)	'26/2月	Webライブ	11/4(火)~'26/1月	'26/2月~'26/3月	23,100円
Excel (7回)		Webライブ			
PowerPoint (7回)		Webライブ			
G検定 (ジェネラリスト検定) (15回)	'26/2月	Webライブ	11/4(火)~'26/1月	'26/2月~'26/3月	42,000円

申込方法はP.28へ



同時学習で3科目以上の取得がおすすめです!

同時学習により効率よく学習することで理解が深まり、高い効果を得ることができます。

Word・Excel・PowerPointは共通機能が多く、同時学習することでより理解が深まり、高い効果を得ることができます。亜大のMOS講座は、3科目の講座を同時期に学習できるカリキュラム設定です。また、夏期集中ではビジネス統計スペシャリスト、春期集中ではG検定との並行学習も可能となり、パソコンスキルを身につけながらExcelの分析力を高めることや、AI知識を深めることも可能です。自身のペースで1科目ずつ学習したい場合はWordからの受講をおすすめします。

MOS講座では、例年多くの大学生が複数科目を並行受講し、同時合格しています!

夏期集中・春期集中なら短期間で効率的な資格取得が可能です!



※Microsoft、Windows、Excel、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

MOS講座 (Word) (Excel®) (PowerPoint®)

MOSで身につく「実務処理能力」は社会人の基礎的なスキルとして不可欠です。

パソコン操作は日常業務に不可欠で、どの企業への就職を考えていても求められる、社会人の基礎的なスキルです。MOSの資格を持っていれば「パソコンの基本的な知識や経験があり、業務でも使用できる」というスキルを客観的に証明でき、また「自ら勉強をおこない、目標に向けて努力する人材である」と企業へアピールできる材料ともなります。就職活動前にWord・Excel・PowerPointの3科目をまとめて取得しておくことをおすすめします。

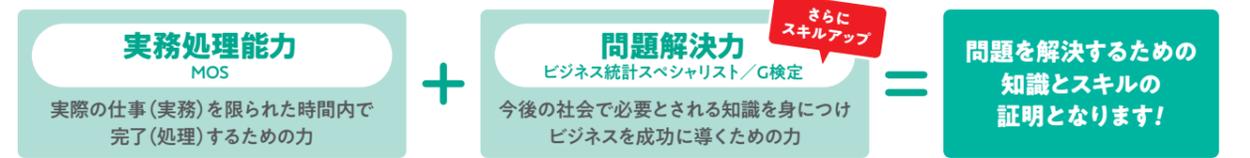


「使える」から「使いこなせる」になろう!

パソコンスキルは、自己流で「使える」と、習得した適切な機能を「使いこなせる」とでは意味が異なります。

- MOS講座では実際にアプリケーションを操作する実技を学習するため、実践的なスキルが自然と身につきます!
- ビジネス統計スペシャリストではMOSで身につけたスキルを活用し、「考える力」をつけることができます。
- さらにG検定ではAIの知識や活用リテラシーなど、これからの社会に必要となるスキルを学べます。

MOSで身につく「実務処理能力」に
ビジネス統計スペシャリストとG検定で身につく「問題解決力」のスキルを組み合わせましょう!



ビジネス統計スペシャリスト講座

今、注目の資格「ビジネス統計スペシャリスト」で「問題解決力」を養う

■ビジネス統計スペシャリストとは

ビジネス統計スペシャリストは、データ分析の「実践」に重点を置き、身近に活用できるExcelを使用したデータ分析技能と、分析結果を正確に理解し、応用する能力を証明します。顧客管理や集客効果、購買動向など、ビジネスにおいて扱われるデータにはさまざまなものがあります。あらゆる数値をもとに分析し、正確な情報を得るための「データ分析力」はビジネス実務に必要なスキルです。そのため、企業はこのデータ分析力がより高い人材を求める傾向にあります。MOSとあわせて学生のうちに習得しておくことで、就職活動時だけでなく社会人になってからも自信を持って仕事に取り組むことができるようになります!



ヒット商品を作るためのアンケート調査では、顧客が求める項目の第1位は「価格」でした。では、その結果をもとに「コストを抑えて低価格な商品を作る」ことが本当に正しいのでしょうか?アンケート結果項目同士の関係性がわかるように、Excelでデータを分析してみましょう▶▶▶

●顧客アンケート結果項目の相関係数

	価格	機能性	耐久性	デザイン	ブランド
価格		0.22	0.16	0.66	-0.13
機能性			0.3	0.21	0.48
耐久性				0.16	0.24
デザイン					0.38
ブランド					

【参考資料】株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ「ビジネス統計スペシャリストとは」

アンケートの結果、「価格」と答えた顧客の多数が「デザイン」も重要であると考えていることが読み取れるようになりました。顧客は「価格を抑えつつ、デザイン性のある商品」を求めており、ただコストを抑えただけでは商品は売れないことがわかりました。

Excelを活用し、分析結果を正確に理解し応用するといった「データ分析力」を使って、問題を解決していく力が身につきます。

G検定 (ジェネラリスト検定) 講座

「実務処理能力」とAI分野の「問題解決力」の組み合わせで活躍の場がさらに広がる!

■G検定 (ジェネラリスト検定) とは

G検定 (ジェネラリスト検定) はJDLA (日本ディーラーニング協会) が実施しているAI (人工知能) に関する資格です。AIが注目されている今、ディーラーニングや人工知能、機械学習の知識がある人材のニーズが高まっており、これからの時代に求められる資格です。MOSで身につけるパソコンスキルやビジネス統計スペシャリストで身につける分析スキルは、AIの領域と相性が良いため、あわせて学習をしておきたい資格となります。

文理、所属学部を問わず、これからの時代に必要となる資格です!

注目度急上昇! G検定受験者が増えています

デジタル人材育成への社会的機運が高まる中、G検定は「今後必要とされる領域」の知識の証明として企業からも注目されています。大学生の取得者はまだ少ないため、今が周囲と差をつけるチャンスです!

累計140,074人

受験者数 年々増加!

累計1,448人 2017年 2024年

【参考資料】一般社団法人日本ディーラーニング協会「G検定 受験者推移(累計)」2024年11月25日 (https://www.jdla.org/certificate/general)

「AI分野の知識」を使い、パソコンスキルを駆使しながら問題を解決していく、社会において必要とされるDX人材としての力が身につきます。